

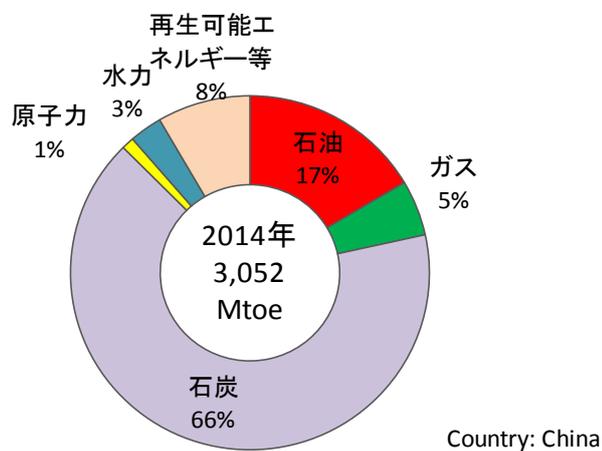
1-1 中国

1. サマリー

1. エネルギー事情

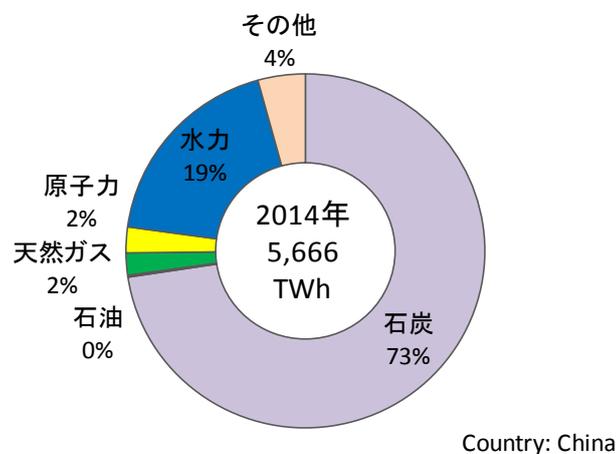
- (1) 一次エネルギー供給量 (2014年) : 3,052 百万 toe (日本の 6.91 倍、世界第 1 位)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2014年) : 2.24toe (日本の 0.64 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2014年) : 85%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 90.9 億 CO₂ton (日本の 7.6 倍)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 6.66CO₂ton (日本の 71%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2015 年末) : 原油 15.8 年、天然ガス 27.8 年、石炭 31 年

一次エネルギー供給構成 (2014年)



(出所) World Energy Balances 2016, IEA

発電電力量構成 (2014年)



(出所) World Energy Balances 2016, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- 国家能源局（2008年7月設立）：国家発展改革委員会の外局。努尔·白克力国家発展改革委員会（NDRC）副主任が局長、副局长が4名（鄭棚洁、王曉林、李仰哲、李凡荣）。
- 「国家能源委員会」（2010年1月設立）：李克強國務院総理、張高麗の他20名の閣僚で構成。エネルギー政策全般に関する省庁間の利害を調整。

(2) 基本政策

- エネルギー需要の伸びが鈍化するなか、深刻化する環境汚染に対処し、且つCO₂排出量の削減に向けて、エネルギー供給構造の最適化、エネルギー利用効率の向上、クリーンな低炭素社会の建設、安全でクリーンな高効率エネルギーシステムを構築する。

(3) 最近の動向

- 2014年11月、國務院は、「エネルギー発展戦略（2014～2020年）」を発表し、1) エネルギー自給率の強化、2) エネルギー効率の向上、3) 石炭消費の抑制を含むエネルギー・ミックスの最適化、4) エネルギー分野の国際協力推進、5) エネルギー分野の科学技術イノベーションの推進、の5点を重点項目として提示。
- 2015年3月、中国政府はユーラシア大陸の東西で欧州とアジアの内陸・沿岸を結ぶ、新たなシルクロード経済圏（「一带一路」構想）構築の概要を発表。
- 2016年12月、中国主導によるアジアインフラ投資銀行（AIIB）が発足。創設メンバーは57カ国。
- 2016年3月、全国人民代表大会において、「第13次5カ年計画要綱」（2016～2020年）を採択。エネルギー分野では、「エネルギー構造の最適化とレベルアップ」、「エネルギー備蓄ネットワークの確立」、「スマートエネルギーシステムの構築」を目標とした。
- 2017年1月、国家能源局は13次5カ年計画におけるエネルギー分野の具体的な発展計画として、「エネルギー発展、13・5計画」を発表。2020年のエネルギー消費量を標準炭換算50億ton以内とし、2016年～2020年までの5年間のエネルギー消費量の伸びを2.5%、GDP単位当たりのエネルギー消費量を15%以上削減するとした。また、エネルギー構成では、非化石エネルギー比率を15%以内とし、天然ガス比率を10%に引き上げる一方、石炭消費量を58%以下に抑制し、クリーン、低炭素エネルギー供給を増加させている。

3. 日本とエネルギー分野における関係

- 日中間では、東シナ海の主権及び油・ガス田開発問題をめぐって、両国の主張は平行線のまま未解決。
- 両国は、「日中経済協議」、「日中エネルギー協議」、「日中省エネルギー環境総合フォーラム」等を定期的の実施。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: People's Republic of China

(2014年)

(1) 一次エネルギー供給量		3,052 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		2.24 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.37 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		85 %
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量		9,087.0 百万CO ₂ 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量		6.66 CO ₂ 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	66 %
	石油	17 %
	天然ガス	17 %
	原子力	1 %
	水力	3 %
	再生可能エネルギー等	8 %
(8) エネルギーの輸入依存度		15 %
(9) 石油の輸入依存度		58 %
(10) 輸入原油の中東依存度		52 %
(11) 原油の輸入先	第1位	サウジアラビア(16%)
	第2位	アンゴラ(13%)
	第3位	ロシア(11%)

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2016, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2016, IEA

(10)～(11) : 中国海関統計(2014年)